

コミュニティ常盤

No. 8

発行

常盤校区コミュニティ推進協議会
(常盤コミュニティセンター内)

TEL 22-1455

宇部市社会福祉協議会提供
(夏期福祉施設体験学習より)

困ったときお互いが
助けあえる組織を



常盤校区ボランティアスクール学習会



常盤校区ボランティアスクール

『福祉の輪 みんなで広げる 宇部のまち』

「困ったときにお互いが助けあえる組織をつくらうという運動」が福祉の輪づくり運動です。この運動によってひとり暮らしのお年寄りや身体の不自由な人、母子、父子家庭などが、地域社会の中で皆人と一緒に生活し、安心して暮らせるような「心の通う温かいまちづくり」をめざしてゆこうとしています。

地域社会の中で生活する私たちは、有形無形に近隣の人々にお世話になったり、またお世話をしたりして、毎日を送ってきましたが、今では人と人とのふれあいの不足、扶養意識の低下によって、温かいぬくもりのある地域社会がなくなってしまうそうです。

人と人とのつながりが薄くなり、やむなく寂しい孤独な生活を強いられる人が増えてくる……この様な問題は、私たちの周辺でも起こっていることです。これらの人々へ地域住民として愛の一言運動によって力を添えてあげなくてはなりません。

住み馴れた郷土を離れたくないのは、だれしもが共につ心情です。地域の中で共に喜び共に悲しむことの出来る様に、私たちすべての者が力を出しあって、努力する目標やルールをつくりあげ、サービス活動を実践する体制を整えてゆかなくてはなりません。

(H・N)

広げよう

『福祉の輪づくり運動』

阿川・川上・すぎのこ村を訪ねて

去る九月、市の校区社福協連絡協の主催で、研修視察があり参加。豊北町阿川地区社協・川上村社協と交歓研修、また障害者野外活動センター川上すぎのこ村を訪ね、地域社会に根をおろしたボランティア活動の実態にふれ、ユニークな活動と熱意に支えられた福祉活動の状況をつぶさに見て、得るところが多かった。



▼豊北町阿川地区の活動は、かつて新聞で「ユニーク福祉の輪づくり」「きめ細かいサービスで温く見守る目」「老を社会から孤立させるな」という呼びかけ運動などが紹介され注目をあびた。なかでも阿川郵便局員の日常活動「お元氣ですかひと吉定期便」で郵便局員が毎日お年寄りを訪問、ときには「便利屋」役ガリ刷り新聞「すぎのこむら」も引き受け、独り暮らしの老が送られる。電話〇八三八五人からいつも心待ちにされて、四一二二五五。

今日なお続けられ、地域ぐるみで温かいふれあいあると昭和六十二年度の利用者は、つくり、今も真摯に取り組実人員一、五七三人で延べでんでは、さすがに現代は二、四七四人となっている。社会の中であって、ここにはしたがって平均一月の実利用血の通った生きた福祉の原点者は、一三一人であり、延べが光っていた。

▼川上すぎのこ村は、昭和五十八年八月三日に開所している。したがって今日まで、五年を経過したことになる。山間にあつて、百年以上も歴史を持つ「野戸呂小学校」(三隅記)

愛きょうふりまく もも色ペリカン

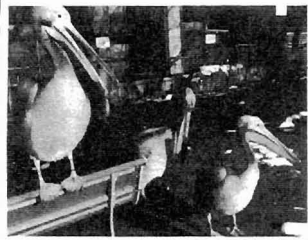
日本広しと言えども、大空を悠々と飛ぶペリカンは、ここ常盤公園にしかいません。名前はカッタ君。昭和六十年、人工孵化によって生まれた四羽の内の一羽です。

親ペリカンは、インドのカルカッタ出身だったので、四羽の名前は地名から付けました。カルカッタからとってカッタ。ハウラとマドラは美人ペリカン?に成長しました。クリは成長過程に死にました。

カッタ君は、飼育担当の白須さん達のお考えで、飛べないようにする手術をしていません。おかげで、学校訪問をしたり、海岸に遊びに出掛けたりで、皆さんに驚きと笑いをふりまっています。カッタ君を可愛がって下さい。



アイアム カッタ I am katta



一緒に生まれたハウラとマドラ。我々が強いのだ



誰でも仲よしのカッタ

ペンフレ

お母様へ

伊藤 咲子

お母さんが逝かれてから、早いものでもう六ヶ月になりました。六人の生活から五人へと、寂しいながらもようやくこの頃慣れてきました。

お父さんは、ゲートボール、グラランドゴルフ、高齢者学級受講、畑作りと大忙しです。でもその方がいいですよ。お父さんのおかげで、新鮮な野菜が食卓を賑わしてくれました。

「芳雄が帰国するまで絶対死なねん」お母さん、頑張りましたね。帰国を安心し



お母さん、頑張りましたね。帰国を安心し

たように体調が悪くなり……。母親の気持ちが痛いほどわかります。芳雄さんは相変わらず仕事に忙しいのですが、もう中年の仲間入りです。で、体の方も気をつけなくてはいいかもしれません。

慎吾は高校で陸上部に入部し、充実した生活を送っています。お母さんが楽しみにしてらした長髪姿、散髪は今迄通り芳雄さんがしています。

二朗は常々お母さんが言われてたように、「朝はこの子の元気な歌声を聞くとホッとします。」まさにこの通りです。さて私ですが、七月より書道を習い始め、先月初めての清書を送りました。終わりになりましたが、お母さん「たくさんいい思い出」本当に有難うございました。

(次は北則貞の日高 動きさんをお願いします。)

創作童話

くつしたのしまくん

松永幸恵

ともちゃんのうちの、物干しは、毎日とても、にぎやかです。だって、家族五人のお洗濯、いっぴいでもの。その物干し竿の、はしっこにいつも靴下干しが掛けられます。きまつて、五人分の五足です。靴下干しの、しまもようそれが「しまくん」です。「しまくん」は、おにいちゃんの靴下で、特別に大きくて、いばり屋です。「しまくん」は、おにいちゃんのお気に入り、それがとても自慢です。だから、一日中、シューズの中におしこめられて、とてもきゅうくつですけど、そのことは、絶対にいいません。靴下干しにぶら下がって、また自慢はなしが、はじまりました。



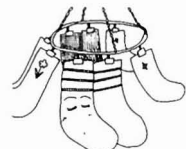
「しまくん」は、おにいちゃんのお気に入り、それがとても自慢です。



今日は、修学旅行の話です。新幹線に乗ったことや、トロリーバス、ロープウェイ、トンネル、バスなどと、みんなの見たこともない、乗り物の名前ばかりです。でも、本当に活躍したのは、旅行の一日目の新幹線と、高速道路をバスに乗って、長野県に着くまでの間だけで、ホテルに着いたら、ぬいぐるみめられて、二日目からは、旅行カバンの底に、忘れられていたのです。四日間も、洗ってもらえなかったのか、かかとと爪先は、うす黒くなって、どうしても落ちません。それに、なんとなく、くたびれたみたいです。みんなが、「黒くなったね」「お疲れさん」などとひやかししました。「雨に降られてね。苦労したよ」とえらそうに、また自慢です。



夏休みも、お休みなしにおにいさんは、クラブの練習なので、しまくんは、家族の中で一番早く、親指のところにあながあきました。



おあきさんに、つぎか当ててもらって、これがまた自慢です。「ばくもつらいけど、おにいちゃんと一緒に、がんばらなくっちゃね。あしたは、試合いだよ」。「しまくん」は、今日一日靴下干しで休んで、あしたはまた、おにいさんのおともです。

楽しかったね!! 区民ベスト4



↑ 運動会(5月8日)……かあさんがんばれ。誰れのケツ圧が威力があったかはヒミツです。

総合優勝……………大沢西前チーム
自治会対抗リレー1位……………東則貞チーム



↑ 敬老会(9月15日)

沢山のお年寄りが集まりました。いつまでもお元気で

↓ 文化祭(11月6日)

今年も素晴らしい作品が、来場者の目をくぎづけにしました。



↓ 夏まつり(8月7日)

イエーイ!! ぼくらのパチさばき見てくれたかな。



捨てる子も軒の下
せつない親心、せめて風雨の
あたりぬ所、よき人に拾われ

おヘソが茶を沸かす
ヘソが茶をわ
かす道理はない
が、まあその位
いにおかしいこ
との意。凸ベソ
と凹ベソと、ど
っちがよく茶を
沸かすか!!



ことわざアラカルト

ておくれ……と。昔は止むに止
まれぬ上での捨て子。今は捨て
るところか子殺しの親。手前勝
手。あな怖ろしや。

覆水盆に返らず
近頃の水はひっくり返すと、
てきめんはね返ってくる。
ご用心。返さぬよう、返らぬよ
うに。



市参加成績発表

7月1日	ふれあい運動推進大会で常盤校区ふれあい運動推進委員会の立看板の部が	優秀賞
9月4日	市民ソフトボール大会で後岡の辻が	惜負
	市民婦人バレーボール大会で大沢西後が	第三位
10月10日	市民体育大会で	
	軟式テニス	第三位
	卓球	第二位
	バトミントン	惜負
	校区対抗リレー	第三位
10月10日	鶴田杯近郷シニア家庭婦人バレーボール大会で常盤シニアクラブが	準優勝

お知らせ

第1回市民綱引大会

昭和64年1月8日(日)

俵田翁記念体育館

空き缶拾い

(6月12日)
(10月23日)

環境連常盤支部に同校区青少年育成連絡協議会ふるさと美化部会が協力して行われた。午前九時各自治会単位で出発し、幹線道路沿いに五コースで作業展開した。センターに集まった空き缶二百キロ、燃えるゴミ百五十キロもあった。

交通安全立哨

春(四月) 夏(七月)
秋(九月)の全国交通安全健

民運動に、交通安全協会常盤分会のみさんと婦人部が協力し、校区内の交通量の多い場所四ヶ所に分散、早朝、七時半から八時半まで交通安全立哨した。(七月は雨の中傘持参でお疲れ様でした。)

随想

ふるさと残照

亀浦老人会 今泉俊雄

以前は、私の郷里では、隣近所の方から季節の物など頂いたとき、手近かにお返ししものがない場合には、庭の南天の小枝を、その容器に入れて、お返ししの印としていたことを覚えてゐる。

ことは、兎角心までも傷つけることになるのではあるまいか。ささやかな一物を頂いてもそのお返しに、南天の一枝を添えて、物と心に感謝の香いのする習慣に心惹かれたことを覚えてゐる。

るものがある。

老来、ここに来て、ふるさとを思う。古仏のようなふるさとを思う。何の飾りもない風光の中に、物心一如の姿があるように思う――。

ときわ市民センター俳句会

飛び出して、鬨^{いそ}ふり向く野路の秋
みちのくの旅の香を欲^ほるリング食ぶ
桐一葉又一しきり雨たたく
天高し笛に園児の輪のひらく
裏簾のざわめく夜半の初時雨

松本 菊子
片山 法恵
藤本マサ子
米藤ふじ子
田村 富子

常盤川柳教室

題「秘密」

ルンルの気分アデランスは秘密
病名は秘密笑顔で看護する
恋知った乙女秘密を胸にだき
此処だけと話す秘密に羽がはえ
企業秘密又飼ひ犬に手をかまれ
翔ぶ女鏡へ秘密見透かされ

朝 磯 ツギ 政 美 弥
恵 香 女 子 登 生

香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志をいただきました。

常盤地区の福祉事業のため、有意義につかせていただきます。厚くお礼申し上げます。

(自 昭和63年 2 月 至 昭和63年11月)

大沢東	蔵藤貞可梯
亀浦西	中塚保雄梯
亀浦東	中野信雄梯
亀浦東	伊藤芳雄梯
亀浦北	見坂志朗梯
則貞 5 丁目 5-31	岡本二郎梯
亀浦西	諸石トキ子梯
亀浦北	杉野シヅ子梯
大沢西後	田中正一梯
大沢東	辻祥一梯
則貞 4 丁目 20-12	大野伸子梯
江 頭	町野美津梯
大沢東	澤松暑梯
則貞 3 丁目 8-22	常本勝紀梯
岡の辻	岩本政夫梯
則貞 5 丁目 10-25	坂本正毅梯
亀浦東	三隅ミサヲ梯

※問合せ先
則貞三丁自十二ー四十
城野勝義
電話21ー四九九二

花ショウブの苗を

編集員募集

みんなであつくる
広報紙
問い合はせは 常盤市民センター

参加してみませんか。
紙面を創造する。||楽しいですよ。
アイデアを、特技を活かしましょう。

常盤市民センター
でんわ二二一―一四五五

長寿の心得
人生は六十才から

七十才でお迎ふの来た時は
只今留守と言え
八十才でお迎ふの来た時は
まだまだ早いと言え
九十才でお迎ふの来た時は
そう急がずともよいと言え
百才でお迎ふの来た時は
頃を見てこちらから
ボツボツ行くと見え
今日を喜び
明日も楽しもう

教室紹介シリーズ
太極拳教室

太極拳（中国拳法の一門派）それは誰でも、いつでも、どこでもできる運動です。静かな心、やわらかい体。深く長い呼吸、ゆっくりとした動作。バランスのとれた歩行、姿勢は常に美しくを基本に一楽庵太極拳講師岡野静香先生の指導により男女二十五名、三十分の入念な準備運動から始まりゆっくりとした動きと深い呼吸により足腰の機能を高め、血行、姿勢を良くし、精神の安定、自分の潜在能力の開発に毎週一回（火曜日）楽しくやっております。皆さん一度見に来られませんか。

久ぶりの編集員の集り、四月からの行事を調べてわかる地域の人々の活躍ぶり「すごいなあ」と感激した。 大下

今年も残り数十日、何をしたらいいでしょうか。「コミュニティ常盤」のあとがきにも追われた二年でした。 沢本

今年もあと一ヶ月で終わり。皆さん忙がしいでしょうが、ゆっくりにすみずみまで読んで下さいね。お願いします。 塚

「住みよい常盤区づくり」のアンケートで、本紙を読んでいる八六・一パーセントに励まされて、

日曆をマジックで消す
束の間に刻が消え
光陰ジェットの如し

三隅

あまり多くもない知恵をしぼって、頑張りました。

来年こそは…の心意気で次号も奮闘します。乞期待!! 長弘

仕事をしながらの「新聞作り」ですが、いそがしい時間をやりくりして…。この中に楽しみがあります。

植野

植野

長いはずの一年もアツと云う間に十二月。新聞を見ながら今年を振り返りませんか？ 野田

ペリカン君の取材で出会った白須さん。とてもやさしい目をしていました。すばらしい方を知り、しあわせ。 山根

山根

